

海友丸通信 1 号

令和元年 6 月 13 日

海洋技術類型 3 年 1 組

長崎を出港して 1 週間が経ちました。生徒の感想を送ります。

航海コース

(T. H)

乗船実習にも慣れて、船内生活も楽しくなってきたけど、早く長崎に戻って部活の友達に会いたいです。

(M. Y)

とてもきついです。まぐろ操業が、とても楽しみです。

(O. T)

終わりが見えない長い航海だ。まだ、10 日も経っていないけど、早く操業がしたいな。

(S. T)

2 ヶ月乗船頑張ります。この、1 週間で帰りたい思いなんですけど、しっかり海の男になってきます。

(K. R)

今は、早くまぐろ操業をして、本物のマグロやカジキを見てみたいです。あと、操業がどのくらいツライのか体験してみたいです。



(操業に備え、ブラン繰りの練習)



(時化しげの中、教室で釣元ワイヤー作り)

機関コース

(M. R)

出港した次の日は、船酔いで食欲もなく、吐いていましたが、2 日目以降は慣れました。船内時間が 1 時間早まったときは、時間の間隔がずれて大変でした。スマホゲームがしたい。

(N. T)

この航海も、1 週間しか経っていないけど、やっぱり早く帰りたいです。

(M. A)

航海が始まって、まだ、1 週間しか経っていないのに結構きついです。早く、ハワイに上陸したいです。

(O. S)

皆さん、お元気ですか？ 僕は元気です。自分は、今、家に帰りたいです。頑張ります。

(T. H)

お母さんのご飯が食べたい。あと、帰りたい。

(指導教官の一言)

出港 2 日目、いきなり、大時化の洗礼を受け、ほとんどの生徒が、船酔いで、丸 1 日食事をできなかったが、1 週間を過ぎ、元気になって、頑張っています。あと、数日で、マグロ操業が始まります。

指導教官 高山和幸